

農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画

田 舎 館 村

1 促進計画の区域

別紙地図に記載の通りとする。

2 促進計画の目標

(1) 現況

本村の地形は最高で標高30m程度の低地帯で、浅瀬石川及び平川流域の豊富な水資源を有する、県内屈指の稲作地帯である。また、果樹や農業用ハウスを活用した野菜が盛んで、特にイチゴは一年を問わず栽培されており、若者の新規就農に一役買っている。

近年では、食味を重視した主食用米の生産が行われるようになり、離農する農業者が担い手に農地を預け、担い手が有機栽培等を行う仕組みが確立されつつある。しかし後継者不足は深刻であり、青年就農者の確保が課題となっている。また、農地環境の保全についても、農業者の数が減少していることもあり、放任樹園地等の増加も懸念されている。

(2) 目標

(1)を踏まえ、本村では、法第3条第3項第1号に掲げる事業を推進するとともに、併せて、同項第3号に掲げる事業も併せて行うよう働きかけることにより、多面的機能の発揮の促進と農地環境の保全を図ることとする。

3 法第6条第2項第1号の区域内においてその実施を推進する多面的機能発揮促進事業に関する事項

	実施を推進する区域	実施を推進する事業
①	全 域	法第3条第3項第1号に掲げる事業及び同項第3号に掲げる事業

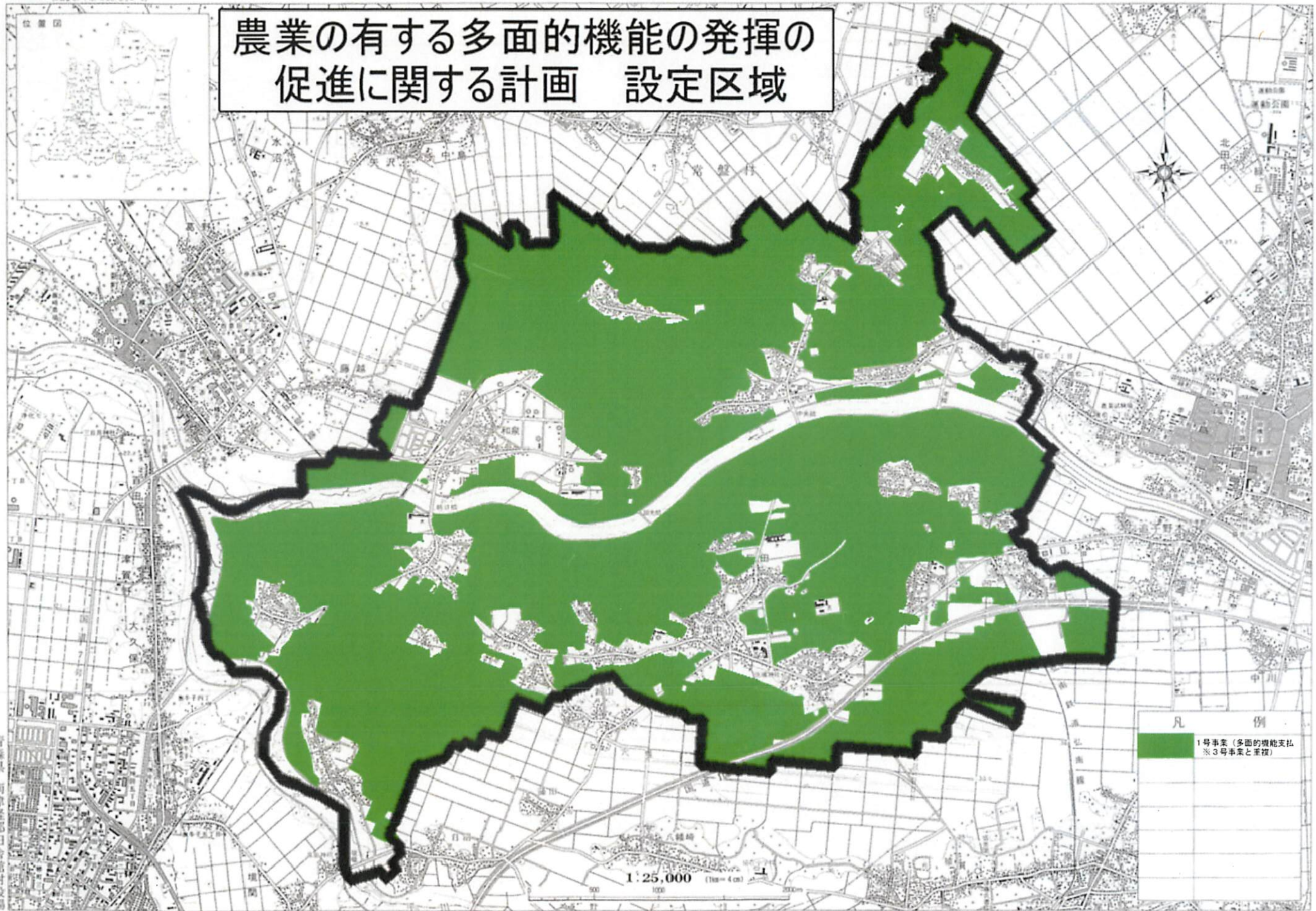
4 法第6条第2項第1号の区域内において特に重点的に多面的機能発揮促進事業の実施を推進する区域を定める場合にあっては、その区域

設定しない。

5 その他促進計画の実施に関し市町村が必要と認める事項

特にない。

農業の有する多面的機能の発揮の 促進に関する計画 設定区域



凡 例
■ 1号事業（多面的機能支払
※ 3号事業と重複）

青森県 南津軽郡 田舎館村 役場